

学生活動ワークシート
難民との共存



『シリアの少女、ナーマツト・ハマウィ』映像活用活

 <https://youtu.be/VHRxcRXnxzg>

- 映像資料を視聴した後、活動ワークシートの質問に答えよう。

1. ナーマツト・ハマウィは誰であり、現在どんな状況に置かれているか？

2. ナーマツト・ハマウィは本人が置かれた現実に対し、どう考えているか？

3. ナーマツト・ハマウィが故郷を離れる時、そこではどんなことがあっただろうか？

4. 劣悪な環境の中でも根気よく学校に通って学ぶナーマツト・ハマウィの将来の夢は何か？将来の夢に込められた少女の希望は何だろうか？

- 下の文章を読んで、質問に答えよう。(出処：国連難民機構)

シリア内戦が起きて13年。2011年3月、独裁政権に耐えかねたシリア市民の非暴力デモが始まった時、誰もこの混乱が13年以上も持続するとは思いませんでした。しかし、これに対し武力で対抗したシリア政府により、内戦が勃発しました。

内戦が起きる前、シリアは毎年オーストラリアよりも多くの外国人観光客が訪れる、美しく繁盛した国でした。しかし9年以上も続いた内戦により数十万人が犠牲となり、670万人の難民が

発生、全世界で最も深刻な人道主義的問題となりました。

また、この悲劇にはまだ終わりが見えません。最近まで続いた無差別爆撃により、2024年基準で1千3百万人(シリア全体人口の70%以上)のシリア人が恋しいわが家に帰れずにいます。このうち半数はナーマット・ハマウィのような子供たちであり、このうちの93%は難民キャンプではなく都市地域の不完全で劣悪な環境で深刻な貧困に苦しんでいます。また、30%以上のシリアの子供たちが学校に通えずにおり、貧困による早婚や児童労働などの苦痛に悩まされています。

難しい環境の中でも希望を持つナーマット・ハマウィのように、シリア難民もまた、大切に育むべき彼らなりの未来のある人々です。1千万人を超えるシリア人の生命を13年以上も脅かしているシリア内戦は私たちの世代の最大の悲劇であり、私たちがともに責任を負うべき問題です

5. ナーマット・ハマウィの映像資料とこの文章を読んで、思い浮かぶことは何か?

6. 深刻な難民問題を解決するために、私たちができることは何だろうか?

学生活動ワークシート
難民との共存



『レバノン・シャティーラキャンプ』映像活用

 <https://youtu.be/mStfBX5uQuU>

- 映像資料を視聴した後、活動ワークシートの質問に答えよう。

1. 映像の中で人形を作っている女性は、現在どんな状況に置かれているか?

2. 女性が人形を作り始めた理由は?

3. 人形の刺繍の絵は何を意味しているだろうか?

4. このように作られた人形が売れたら、そのお金はどこに使われるのか? このような物の販売が持つ意味は何だろうか?

5. 女性が懐かしむ故郷の風景はどんなものだろうか?(予期できない混乱から逃れて生活の基盤を離れ、見知らぬ国で生きていくことはどんなものだろうか?この女性の立場に立って、故郷を離れてきた人生の困難と苦痛について考えてみよう。)
